

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

資料1

	交付対象事業の名称	事業目的	事業内容	実績額	本事業における重要業績評価指標(KPI)		本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
				単位:円	指標	指標値	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	石岡市総合戦略策定事業	石岡市が有している歴史、文化、自然などの豊かな地域資源を活用し、地域の産業の活性化による雇用の創出と交流人口拡大による地域経済の活性化を図るため「石岡市総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査を実施します。	○専門的調査の実施経費: ・住民対象の意識調査の実施 ・石岡市の地区単位での地域特性の情報収集・分析事業 ○総合戦略案に関する意見集約に関する事業 ・外部有識者を含む総合戦略の検討会の運営費	8,986,080					①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない			
2	すくすく赤ちゃんクーポン事業	多様化する子育て需要に対し、安心して子どもを生み育てやすい環境を整え、子育て世代に魅力的なまちづくりを目指します。新生児の保護者に対し、新生児訪問や相談事業実施の際にクーポン券を配布することで、受診率の向上を図り、健全な子育て環境の充実に努めます。	○子育てクーポンの発行: 新生児の保護者を対象として、紙おむつと交換できる子育てクーポンを発行する。(乳児全戸訪問時にクーポン券を10枚、4か月児健康診査受診時にクーポン券を10枚)	5,816,110	子育て相談室利用者数	753人 ↓ 830人	856人	地方創生に効果があった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	事業の継続	子育て相談室の利用者数の増加がみられており、効果的な運用がなされているため。	
3	保育環境充実事業	石岡市では、少子高齢化に伴う人口の自然減に加え、転入転出による人口の社会減が生じています。なかでも、20～30代の若い世代の転出超過が大きく、社会減の8割以上を占めています。若い世代の人口の社会減に歯止めをかけるため、地域における保育環境を充実させ、転出超過のピークである若い世代の年齢層にPRし、転出抑制を図ります。	○保育所・認定子ども園での地域活動:(多世代交流やワークライフバランス講座等)にかかる講師謝礼やバス借上げ料等)	4,193,441	市民満足度調査における「子育て環境の充実」に対する満足度(5点満点)	3.22点 ↓ 3.54点	3.02点	地方創生に効果があった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	予定通り事業終了	多世代交流や地域活動などの実施を継続して検討していく。	
4	地域遊び場充実事業	石岡市で進展している少子化に伴い、市内各地域の子どもの身近な遊び場の確保が課題となっています。そのため、市内の遊び場調査を実施し、遊び場の周知することにより、身近な場所での子育て環境の充実に努めます。また、調査結果を活用し、各地域における子育て環境の維持について検討します。	○遊び場マップの作成: 遊び場の遊具の安全性の調査、遊び場マップの作成	6,804,000	市民満足度調査における「公園・緑地の整備」に対する満足度(5点満点)	2.95点 ↓ 3.24点	2.87点	地方創生に効果があった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	予定通り事業終了	調査及び遊び場マップの作成を実施し、今後、遊び場の充実の検討をしていく必要があるため。	
5	ふるさと学習推進事業	石岡市が有している歴史、文化、自然などの豊かな地域資源を次世代を担う子どもたちに引継いでいくため、ふるさと学習の推進をいたします。地域に対する愛着を深めることにより、市外への転出の抑制し、定住人口の維持を図ります。	○ふるさと学習教材の作成: 小学1年生から中学校3年生までの生徒(5年間使用) 製本 7,000部 平成28年度から、ふるさと学習授業開始	2,116,800	ふるさと検定のテスト平均点	50.5点 ↓ 53点	50.77点	地方創生に効果があった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	追加等更に発展させる	ふるさと学習のためのテキスト作成が完了し、今後、地域の市民と連携しながら、ふるさと学習の推進を図る。	

	交付対象事業の名称	事業目的	事業内容	実績額	本事業における重要業績評価指標(KPI)		本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
				単位:円	指標	指標値	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
6	観光情報発信事業	かつて常陸国の国府が置かれた石岡市には、豊富な歴史資源があります。また、市内には観光果樹も多くあり、観光業の振興に力をいれています。 当市の魅力をPRする情報誌を発行するとともに、H27年度に完成する石岡駅に観光案内所を設置し、市の入込観光客数の増加と地域の経済活性化を図ります。	○観光情報誌の発行: るるぶ石岡(160,000部) ○観光案内所の機能充実: 備品購入 カウンター収納, レジ, 商品陳列棚, チラシ掲載ラック等 ○観光映像コンテンツ作成: 観光案内所へのデジタルサイネージ設置・映像コンテンツの作成	13,519,440	入込観光客数の増加	103万人 ↓ 106万人	136万人	地方創生に効果があった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない		予定通り事業終了	観光等の情報発信を実施する体制を整えることができ、今後も継続して効果的な情報発信をする。
7	観光交流推進事業	平成17年につくばエクスプレスが開通し、平成24年の朝日トンネルが開通したことにより、東京方面やつくば市からの交通利便性が格段に向上しています。 市の魅力である、豊かな地域資源を活用した観光交流の活性化のため、観光資源の魅力アップと観光交通手段の充実を図ります。	○朝日トンネル経由バス路線の試験運行: 9月～11月の土日祝日(1日7往復) ○東京圏への観光PR: 東京都内やTX沿線への駅や店舗等での観光PR ○茨城県フラワーパークにおける花の演出企画: フラワーパークにおける今後の花の演出方法の調査研究 ○フラワーパーク30周年記念式典の開催	13,862,529	茨城県フラワーパークの来客者数の増加	14.2万人 ↓ 15.6万人	22.1万人	地方創生に効果があった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない		事業内容の見直し(改善)	朝日トンネル経由バス路線の効果的な運用を図るため、期間等を見直して実施していく。
8	東京圏交流事業	石岡市は、東京から1時間圏内にありながら、筑波山をはじめとする山々に囲まれた自然環境豊かな地域です。また、肥沃で広大な農地を有し、首都圏で評価の高い農畜産物を産出しています。 これらの地域資源、地域産業を活用し、田舎体験やふれあい交流を実施し、東京圏との交流を深め、二地域間居住や移住の促進を図ります。	○地域資源を活用したふれあい交流イベントの開催: 石岡ふれあいまつりの開催(地域の産品や飲食物などが一同に会するふれあいイベント) ○東京圏との交流事業: 交流のある文京区等からの田舎体験ツアー等の実施 3回開催	11,939,443	東京圏からの、田舎体験ツアー等の参加者	0人 ↓ 700人	148人	地方創生に効果があった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない		事業内容の見直し(改善)	東京圏への情報発信などの課題がみられ、県や他市町村と連携した情報発信など、効果的な手法の検討と改善を図る。
9	観光交流推進事業	平成17年につくばエクスプレスが開通し、平成24年の朝日トンネルが開通したことにより、東京方面やつくば市からの交通利便性が格段に向上しています。市の魅力である、豊かな地域資源を活用した観光交流の活性化のため、観光資源の魅力アップと観光交通手段の充実を図ります。	○風土記の丘における夜間ライトアップ企画: 桜の時期に合わせ、照明機器の設置を実施	1,674,000	照明器設置	0器 ↓ 23器	23器	地方創生に効果があった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効であった		予定通り事業終了	照明器設置がなされ、効果的な運用を図っていく。
					風土記の丘の入場者数増加	13.2万人 ↓ 14.5万人	14.0万人		③総合戦略のKPI達成に有効であった			